

第17回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 二次審査進出プラン決定のお知らせ

厳正なる書類選考の結果、下記21プランの二次審査（プレゼン審査）進出が決定しました。
12月上旬の二次審査会を経て、上位6～8プランが、12月22日の最終審査会（コンテスト）に出場します。

（学校名50音順 敬称略）

	学校名	学部名	代表者	プラン名	プラン概要
1	有明工業高等専門学校	電子情報工学科	角 佑部	九州から始める農業革命 担い手づくりを支援する「人に優しい超精密農業」	本事業では、既存の農家や新たに農業を始めたい人々をサポートする「実践的IoT教材」と「農業支援AIシステム」を開発し販売する。近年、超精密農業やスマート農業など農業の効率化が注目されているが、日本の農業人口は減少傾向にあり新規就農者獲得は大きな課題である。そこで、人材育成に着目しAIを用いた「人に優しい超精密農業」を提案し、経験や勘による暗黙知を形式知化することで未来の農業の担い手づくりを支援する。
2	大分大学	経済学部	板井 瑠菜	かぼす蚊取り線香 大分名産かぼすの香りで気持ちも爽やかに！	かぼす蚊取り線香には3つの魅力があります。1つめは、大分名産かぼすを使用していることです。2つめは、かぼすの成分を有効活用していることです。3つめは、摘果かぼすを有効利用していることです。このビジネスの目的は、かぼす農家の方の困りの解決、さらには全国的なかぼすの知名度向上です。摘果かぼすは農家から無償提供、原材料は研究開発で自己調達化を可能にする等の工夫で、収益を生み出します。
3	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻	穴井 達	実世界融合技術を活用した健康促進事業 未来の自分とこ対面-Tengen2-	多くの働き盛りのビジネスパーソンは自身の健康に不安があっても具体的な行動案を持たず、疾病が発症するまで健康予防できていない。本事業は独自技術のバイタルチェック技術を活用したコミュニケーションを通して自身の生活習慣に対する危機感と予防策を提供し、予防医療の所論を浸透させる。予防医療主義の共通認識の足がけとなる本事業は健康関連商品の販売促進に貢献し、健康関連商品の新たな広告メディアとして収益を得る。国民の大規模な健康経過情報を収集できる本サービスは超高齢社会の突入で崩壊が危惧される国民医療費・国民年金制度を立て直し、新しい医療のプラットフォームの構築に貢献する。
4	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻	藤原 雛子	スマートグラスで実現する介護シーンのRPA this is next generation	介護だけでなく、介護記録の書類作成を行う介護職員の負担は大きい。そうした介護職員の負担を軽減するため、スマートグラスを用いた記録業務の自動化によりサポートを行う。残業時間の軽減や介護に専念できる環境をプロモーション。事業収益はシステムの販売、メンテナンスにより得る。
5	鹿児島大学	大学院理工学研究科 博士前期課程	宅野 美月	焼酎粕と地熱を用いた飼料および肥料製造 地熱の力で地元を元気に	このビジネスプランは、焼酎を製造する時に大量に出る副産物である「焼酎粕」を地熱の力を利用して飼料や肥料として活用し、地元の畜産農家の力となることを目標としている。
6	九州大学	大学院工学府 物質創造工学科	石濱 航平	ワクチンシールの開発・販売 医療を身近に、感染症リスクのない世界を実現	我々は、九州大学が保有する特許技術を用いた「シール型のワクチン薬」の開発・販売を行う。本事業により「病院に行かないとワクチンが打てない」という常識を覆し、誰もが自分で予防接種ができるワクチンを提供する。顧客は、全国の薬局やコンビニで本製品を買い、散って病院に行かなくても、仕事をしながらワクチンの摂取が可能となる。
7	九州大学	大学院 統合新領域学府	王 シンシン	Virtual Bottle keep System どうも、効率的な接客ぶり、無駄ないボトルキープ Virtual BKです	居酒屋に Virtual Bottle keep Systemを提供します。現在のボトルキープはボトルをキープするサービスであり居酒屋側はボトルを管理しなければなりません。本システムではボトルをVirtualizeして瓶の保存から中身の保存へと考え方を移行します。これにより居酒屋側は場所的な制約やボトルを探す大変さ、客は期限やどの店にキープしたか忘れるなどのボトルキープの煩わしさから解放されます。
8	九州大学	大学院 経済学府	小山 昭則	老人性難聴者に補聴器なしで明瞭な音を届ける Listen to The Voice	①B to B企業に対して、我々の開発したアルゴリズムをライセンス提供する。②人生100年時代において、75歳以上の高齢者の難聴は約47%である。しかしながら、難聴者の補聴器所有率は14.1%であり装着率は更に低いといえる。その中で補聴器が無くても、高齢者に音を届け、高齢者にインプットを増やすことでアルツハイマー病、うつ病の発症率抑制(1)を行う③市場の大きいスマートフォン、補聴器、これから市場が急拡大するAIスピーカー・ヘイムコントロールによるライセンスビジネスで収益を得る。
9	九州大学	工学部 機械航空工学科 機械コース専攻	松本 忠大	イーハ IoTで歯科医療の常識を変える。	病院や介護施設の患者の口内の写真を定期的に撮り、往診を担当している歯医者に送るシステムとそれを用いる機械を作る。歯医者はこの情報で往診の時間を短縮でき、病院側は患者の「予防歯科」を低予算で完遂できる。私達は機械の販売のほか、患者が歯医者に支払うサービスの利用料を貰うことで利益を得る。
10	九州大学	工学部 エネルギー科学科	宮崎 圭司	お散歩わんわん 寂しいを楽しむに	「お散歩わんわん」はお散歩代行プラットフォームである。代わりに犬の散歩に行ってもらいたい飼い主と、散歩することができない犬と触れ合いたい人を繋ぐ。散歩してもらいたい飼い主は基本無料で安心安全のための保険やGPS首輪からの課金、散歩したい人はサービスの利用料として月額料金をいただく。

11	熊本県立大学	総合管理学部 総合管理学科	中村 雷乃	TERA KO YA 家庭を救う「第二の家族」	本事業は様々な理由により、小学生の子供の面倒を見ることができない家庭に、「第二の家族」として、そのニーズに合ったオプション保育を提供することにより、放課後の子供の安全と健全な生活を守るものである。これは、都市部で深刻化している学童待機児童問題の解消に一役買い、育児中の家庭の支援をすることができる。収益は、1時間ごとに発生する基本保育料に加え、オプション料金で得る。
12	熊本高等専門学校	電子情報システム工学 専攻	大久保 達矢	目が不自由な方のサポートシステム ユアーズあいvision！大事な情報、人の目借りずに見れますよ！	老人や視覚障害者のようなロービジョン者は、個人情報である通帳などを自分で確認したいという要望がある。しかし、現状では手軽に確認できるようなシステムはない。そこで、このような問題を解決するため、スマホやタブレットを使って手軽に確認できるシステムを福祉機器事業社とコラボして提供する。
13	崇城大学	情報学部 情報学科	荒木 雅樹	未来のITエンジニアを育成する革新的な教材 の開発・販売 21世紀型スキルを育み、伸ばす。	IoTやAIといった情報化技術が私たちの生活を大きく変容させる現在、それに伴いITエンジニアの需要は年々高まりつつあります。私たちは未来のITエンジニアを育成するために、「中身の技術」が全く見えないIT製品の仕組みを「見える化」し、自ら興味をもって楽しむ、そして体感することで自発的な学びを促す革新的な教材を教育現場に提供し、さらに教師や生徒が学びの成果を進化させるために、簡単に利用できる機械学習のプラットフォームを構築します。
14	崇城大学	生物生命学部 応用微生物工学科	平田 竜一	Whoda (ウーどら) 水耕栽培×光合成細菌＝機能性野菜	Whodolaは、光合成細菌を用いた機能性野菜を水耕栽培によって生産し、それらの生産プロセスを見える化したフラッグシップ店舗を展開し、それらを核に独自の販売チャネルを構築します。水耕栽培は、無農薬・安定供給・収穫高の向上が期待でき、さらに光合成細菌を栽培に利用することで、色素が濃く、栄養価の高い機能性のある野菜をより簡単に生産することが可能になります。食の安心・安全に対して敏感な30代～40代の女性をターゲットに、ユーザー各々のニーズに対応した機能性野菜を生産・提供することを通じて、健康増進のサポートを推進する熊本発のローカルアグリベンチャーです。
15	長崎国際大学	人間社会学部 国際観光学科	若林 大翔	空き家で日本文化体験 インバウンドで地域活性化！	インバウンド向けの日本文化体験イベントを佐世保市周辺の地域に多く存在する空き家を利用して行い、そのイベントの参加料で運営していく。また、このイベントの意義は利益を上げるだけでなくインバウンドを呼び込むことによる地域の活性化も兼ねており、このビジネスプランが果たす役割はとても大きいと考える。
16	福岡女学院大学	人文学部 現代文化学科	櫻井 美月	THE 寺子屋 空白の時間が夢で満たされる 文系女子大生が考案した新学習モデル これで高校3年生が変わります。	政府が新たな方針として「人づくり革命」を発表するほど、現在「人」に関心が向けられています。このビジネスは、その「人」に重点を置き、早期から人材育成していくために空白の時間を活用し高校3年生を対象としました。「人」が育てば、日本社会の未来は明るくなっていくと考えます。収益は、授業運営から得ます。
17	宮崎大学	医学部 医学科	大立目 真臣	Remote Hospital 簡単に取り組める疾患治療	主に精神疾患をもつ患者に、遠隔医療として認知行動療法プログラムを提供するビジネスである。また受診前の人々に病院や医療資格者を紹介することで、二者間の巡り逢いの援助を行う。弊社は、遠隔医療システムの提供並びに、医療資格者と患者とをつなぐ役割を果たす。収益は患者が遠隔治療を受ける際、診療料からシステム手数料を徴収することと、医療資格者の会員登録料を考えている。
18	宮崎大学	環境口ポティクス学科	木下 大輔	TOBE (トベ) What do you want TO BE?	障がい者は、様々なサービスを利用する場面でも障がい者手続きを要求されます。たくさんの手書き書類や電話での応答が必要な障がい者手続きは、障がい者の社会参加への障壁になっています。そこで、私たちは、「障がい者情報データベース(TOBE)」を提供することで、障がい者が抱える手続きの悩みを解消します。さらに、当サービスは障がい者だけでなく多くの企業にもメリットを生みます。収益は、障がい者と企業からの手数料です。
19	宮崎大学	農学部 植物生産環境科学科	新町 一樹	VANOA ～ネット社会と農家を繋ぐ～	全国のユーザーに宮崎県の農産物をタブレット端末内で栽培してもらい、実際の農地で育てた農産物を生鮮品または加工品として提供する。そうすることで、宮崎県の農産物を全国で認知してもらい、農家の収益の増加や加工業者の販路拡大に繋げる。VANOAの収益はアプリユーザーによる課金と加工業者からの広告料とする。
20	宮崎大学	農学部 応用生物科学科	日高 桃子	Agriculture × Beauty Beauty Camp ～パーソナルツアーコーディネーター～	①地方に旅行に来る女性を顧客にした観光ビジネス。地域を知り、地域に生きる人達が地域の人々と連携を組みながら、その地に魅力を存分に盛り込んだオリジナルのツアープランを作成し、提供するビジネス。
21	宮崎大学	地域資源創成学部 地域資源創成学科	松田 稜平	母校で同窓会 あの場所であの雰囲気をもう一度	私たちは「中学時代に戻りたい」「高校時代に戻りたい」と考える年配の方をターゲットにした、母校で同窓会ができるように、学校の運営、同窓会の企画・運営のサポートするビジネスを提案します。全国の学校に連携の協力を依頼し、母校の先生と幹事の店と私たちを打ち合わせを行い、当日は幹事の代わりにこちら側が会を進めていきます。アプリアドバイザーとして、老人ホームや各地域の区ごとにアプローチをかけていきます。収益は、会の進行などの手数料です。